

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	技能継承・振興対策費(ものづくり立国の推進)	事業開始年度	平成10年度	作成責任者		
担当部局庁	職業能力開発局	担当課室	能力評価課	能力評価課長		
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定	上位政策	技能継承・振興のための施策を推進すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第63条第1項第7号、雇用保険法施行規則第125条の2第2号、第138条第6号及び第10号	関係する計画、通知等	第8次職業能力開発基本計画 (平成18年度厚生労働省告示第449号)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	若年者のものづくり離れ・技能離れがみられる中で、技能労働者の地位の向上を図り、若年者が進んで技能者を目指す環境を整備するとともに若年者に対し技能の魅力・重要性を啓発し、若年ものづくり人材の確保・育成につなげていくことを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	企業や業界団体による主体的な取組を活用し、技能労働者の優れた技能の重要性について企業や国民に広く啓発する技能士活用強化学業の展開を図るとともに、優れた技能者の製作実演や作品に直接触れたり、若年技能者との交流等を通じて、若年者に対し技能の魅力や素晴らしさを訴え、技能に対する関心・興味を喚起する。また、技能の素晴らしさ、重要性について若者をはじめとした国民各層に深く浸透させ、技能の受け皿となる若年人材の継続的な確保等を実現させるための各種技能競技大会や卓越した技能者の表彰をはじめとする各種表彰等を実施する。					
実施状況	第47回技能五輪全国大会(茨城県) 40職種、参加選手数 983人(平成21年度実績)、第4回若年者ものづくり競技大会(神奈川県) 14職種、参加選手数 271人(平成21年度実績)、第40回技能五輪国際大会(カナダ)(隔年実施) 日本選手数 45人、大会結果:金メダル6職種、銀メダル3職種、銅メダル5職種(平成21年度実績)、第25回技能グランプリ(兵庫県)(隔年実施) 31職種、参加選手数 554人(平成20年度実績)、「ものづくり立国・次世代フェスタ」平成22年3月20・21日(パシフィコ横浜) 来場者数 5,613人(平成21年度実績)、メダリスト等による地域技能啓発促進事業:日本全国全48会場において実施し、参加者数は約9,500人(平成20年度実績)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	981	1,354	1,622	956	735
	執行額	802	1,076	1,087		
	執行率	81.8%	79.5%	67.0%		
	総事業費(執行ベース)	802	1,076	1,087		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> ・委託先を選定するに当たって、企画書の内容を評価することにより、適正な事業内容となっているか確認しているところ。また、委託契約時に、実施計画が企画書の内容と相違していないか確認している。 ・事業終了時に提出される、事業の実施結果報告及び精算報告により支出内容及び事業の実施状況を把握している。 ・各種技能競技大会等の会場に職員を派遣し、指導・監督を行うとともに、その実施状況等を把握している。 				
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> ・抜本的な事業見直しにより、平成22年度予算額を対前年度予算額比約40%以上の大幅な縮減を行ったところであり、適正に事業を実施していく上で、更なる見直しは困難なところである。 ・今後の課題については、実施結果の効果測定を的確に行うとともに、より多くの成果を出すための検討を行ってきたい。 				
予算チームの監視・効率化	一部改善(事業の優先度を勘案し縮減、コスト削減) ものづくり立国の推進に係る経費については、より効率的な事業となるよう管理経費等を精査し、予算に反映すべき					
補記						

厚生労働省
1,087百万円

技能労働者の地位の向上を図り、若年者が進んで技能者を目指す環境を整備するとともに、若年者に対し技能の魅力・重要性を啓発し、若年者ものづくり人材の確保育成につなげていくため、技能労働者の地位向上のための取組や若年者に対する技能啓発の推進、技能競技大会の開催等によるものづくりの魅力の喚起等を図る。

【企画競争】

A 中央職業能力開発協会
638百万円

若年者ものづくり競技大会、技能五輪全国大会、熟練技能者技能競技大会の開催を通じて大会参加者及び来場者をはじめとする国民各層に対して技能に対する啓発を行う。

【企画競争】

B 都道府県職業能力開発協会
(47協会)
354百万円

・技能継承支援
・技能・ものづくりの重要性に対する技能啓発の推進

【企画競争】

C 民間会社
(1社)
69百万円

・若年者に対する技能啓発の推進

うち事務費
26百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 中央職業能力開発協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	競技会場設営費、競技会場等借料	350			
人件費	職員の配置	144			
謝金	課題作成委員、競技委員等への謝金	33			
その他	旅費、消費税等	111			
計		638	計		0
B. 宮崎県職業能力開発協会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
謝金	熟練技能者講師謝金、ものづくり人材育成 アドバイザー等への謝金	8			
庁費	消耗品費、講習会設備使用料等	5			
その他	旅費、消費税	3			
計		16	計		0
C. A社			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	会場借用費・電気、清掃費、広報宣伝費等	51			
人件費	運営人件費	7			
謝金	講演者謝金等	3			
その他	業務諸経費、消費税	8			
計		69	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

平成21年度ものづくり立国の推進事業

■ブロック別執行額上位10

Bブロック支出先内訳(上位10者)

	都道府県職業能力開発協会名	額(百万円)
1	宮崎県職業能力開発協会	16
2	福岡県職業能力開発協会	14
3	埼玉県職業能力開発協会	14
4	広島県職業能力開発協会	13
5	佐賀県職業能力開発協会	13
6	山口県職業能力開発協会	13
7	神奈川県職業能力開発協会	11
8	長崎県職業能力開発協会	10
9	大分県職業能力開発協会	10
10	岐阜県職業能力開発協会	10